

# N1 第 41 课 古典文学爱昆虫的千金 2 (语法)

姫君は、虚飾も排除します。「人間たるもの、すべて自然のままがいいのだ」と彼女は主張し、眉毛を抜き、眉墨で眉を描くといふ当時の女性のような化粧をしない。自然のままの黒々とした眉をしている。お歯黒も面倒だし不潔だからと言つてつけない。現代人からすると、姫君の言うことのほうが科学的で納得できます。でも、当時の常識からは外れている。常識は時代によって異なるのですね。

(山口伸美『日本語の古典』岩波書店による)

大小姐还排除了粉饰。她主张：“作为人类，什么都是自然最好。”当时女性的化妆是把眉毛拔了以后用眉粉描眉，大小姐也不做。她就是自然状的黑眉毛。她说把牙齿涂黑也觉得麻烦和不干净，所以不涂。从现代人来看，大小姐说的话更有科学性，能够心服口服。不过，脱离了当时的常识。常识是时代不同而不同啊。

## 语法

### 1. 一たる

- \* 解释：とある(引号+有)的古语
- \* 意思：1. 等号(名+たる+名词)  
2. たる→とある→ている

### 1. 国民の生活をよりよいものにすること、それが政治家たる者の使命だと思う。

- \* 我认为提高国民的生活质量是政治家的使命。
- \* 国民：(0, 名)国民，公民
- \* よりよい：(3, 形)更好的
- \* 政治家：(0, 名)政治家
- \* 使命：(1, 名)使命

### 2. 警官たる者、そのような犯罪に関わってはいけない。

- \* 作为警察就不应该涉足那样的犯罪。
- \* 警官：(0, 名)警察，警官
- \* 犯罪：(0, 名)犯罪
- \* 関わる：(3, 自五)有关系

### 3. 春は曙、やうやう白くなりゆく、山ぎは少しあかりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。

\* 春，曙为最。逐渐转白的山顶，开始稍露光明，泛紫的细云轻飘其上。

\* 曙：(0, 名)曙，曙光

\* やうやう：(0, 副)ようよう→ようやく→渐渐

\* 山ぎは：(0, 名)山際 天际，山脚

\* あかりて：(0, 自五)あかる 放明

\* 紫：(0, 名)紫色

\* 雲：(1, 名)云彩

\* たなびく：(3, 自五)(云，霞等)飘忽，缭绕

## 2. ～から

\* 解释：从→from→脱离，离开

1. 子どもが自室に閉じこもるのは親から独立した自分だけの精神的世界を持ち始めたことの

現れだろうから、悪いとばかりは言えない。

\* 孩子把自己关在自己的房间里这一行为，是开始拥有脱离父母而独立的自我精神世界的表现，所以不能完全说是不好的。

\* 自室：(0, 名)自己的房间

\* 閉じこもる：(4, 0, 自五)闭门不出；封闭

\* 独立：(0, 名/自サ)独立

\* 精神的世界：(6, 名)精神世界

\* 現れ：(0, 名)体现，表现

2. 自分の体を食べに来る動物から身を守る必要がある。

\* 有必要防备来吃自己的动物。

3. 無理に友達に好かれようと思わず、友達から孤立してもいいと腹を決める。

\* 不想非让朋友喜欢自己，下定决心即便被朋友孤立也无所谓。

\* 孤立：(0, 名/自サ)孤立

\* 腹を決める：(2+0)下定决心，毅然决然